

学校だより

よく考え 励まし合って やりぬく子

よく考える子

励まし合う子

やりぬく子



TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

スポーツの秋になりました。

輝かしい成績を残してリオデジャネイロオリンピックが幕を閉じました。また、全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）でも、盛り上がった試合が数多くありました。

私は、スポーツが大好きです。なぜなら、戦いに勝つために**自分**を鍛え、成長することができるからです。今回は負けても、また来年・・・。また4年後・・・。と、人は努力を続けます。だから、メダルを取った選手や優勝した学校だけでなく、スポーツにおいては、参加する人たち全員が主人公です。

私もスポーツ（野球）に関わり、2014マスターズ甲子園に出場しました。2度目の出場を目指して現在も挑戦（努力）中です。

9月24日（土）は、いよいよ大藪小学校の運動会です。子どもたちは、「見せろ団結！心を1つに！力の限り全力で取り組もう」のスローガンのもと、すでに準備段階から心をひとつに団結し、全力で練習しています。このスローガンの素晴らしいところは「全力で戦おう」ではなく、「全力で取り組もう」というところです。運動会当日だけでなく、それまでの準備の中で団結し、力の限り取り組む姿は、とても立派です。運動会を通して、子どもたちは大いに成長するはずで、保護者の皆様は、お子さんをよく見ていただき、小さな成長を見つけて認め、誉めてあげてください。



しかし同じ「戦い」でも、自分を鍛えることよりも、**相手**を痛めつけることを優先する暴力や戦争は、大切な命を奪うものであり、決して勧められることではありません。

この夏、日本においても世界においても「人権」や「人の命」を軽視する事件が数多く起きてしまいました。実に残念です。私たち大人は、これらの事件を教訓に「心の教育」について、真剣に考えていかなければならないと痛感しました。

「できていること」を基盤に成長させていく

4月から「たいせつに」を合い言葉に生活してきました。どの学年も「たいせつに」を意識して行動し、いろいろなものをたいせつにする姿が見られました。そして、1学期の終わりには、自分から「○○をたいせつにしているよ。」と話す児童も現れました。

この中で、最高学年の6年生は、「たいせつにすると、気付いて動ける」ということを発見し、行動に移すようになりました。素晴らしいです。

そのおかげで、大藪小学校は、この「気ができたこと」を基盤に2学期をスタートすることができます。「たいせつにしているから、○○に気付いたね。」という認め、励ましが広まれば、きっとまた大藪小学校の子どもたちは、「新しい価値」を見つけ、行動していくと思います。

ご家庭でも、学校でも「次は○○をがんばれ！！」という必要はありません。「できていること」を認め、誉めていただくだけで、どの子も自分自身で成長していきます。これが大藪小の児童の素晴らしさです。